

エルサルバドル政治経済月報

(2025 年 3 月)

2025 年 3 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. Chivo Pets 等動物福祉関連機関の閉鎖・再開（大統領 SNS）

3 月 8 日、ブケレ大統領は、サンサルバドル県イロパンゴ市の動物保護施設での劣悪な飼育環境に対する一般国民からの SNS での多くの告発を受け、動物福祉行政の失敗であるとして、同市を管轄するサンサルバドル・エステのホセ・チカス市長を批判し、公立動物病院（Chivo Pets）を含む動物福祉関連 3 機関の即時閉鎖を発表。しかしその後、3 機関のうち Chivo Pets については、同病院に対する批判的なコメントは実態を反映していないとして翌 9 日に再開を発表した。

2. ブケレ大統領による高等教育政策の発表（3 月 17 日付当地各紙）

3 月 16 日、国立体育館にてブケレ大統領による高等教育政策「エルサルバドルの繁栄（FloreCIMIENTO Salvadoreño）」の発表が行われ、約 10,000 人の高校生その他、外交団も招待された。同プログラムは、犯罪地域コントロール計画（Plan Control Territorial）の第 6 フェーズ「統合」の一部として、毎年中等教育を終える約 5 万人の若者たちを対象に、奨学金により無償の高等教育を保証するもの。同プログラムには、現時点で私立大学 10 校、専門学校 3 校が協定を結んでおり、約 100 の選択肢がある。奨学金への応募条件には、言語や数学の補習（40 時間）、ボランティア活動（40～60 時間）の他、国家統合局のプログラムへの参加が含まれる。

外交

1. 米国からのベネズエラ人ギャング等の送還（大統領 SNS）

(1) 3 月 16 日、ブケレ大統領は、自身の SNS に、米国からベネズエラのギャング集団トレン・デ・アラグアの 238 人、及び MS13 のメンバー 23 人がエルサルバドルに送還され、CECOT に移送されたと投稿。右投稿において、彼らが飛行機から降ろされ、CECOT に運ばれてひげや髪の毛を剃られて独房に収監される様子の動画とともに、彼らは 1 年間収容され（更新可能）、刑務所使用料は米国が支払うことを明らかにした。

(2) 3 月 31 日、ブケレ大統領は、自身の SNS に、新たにトレン・デ・アラグアと MS13 のメンバー計 17 人の犯罪者が米軍用機で送還されたことについて、彼らが移送される様子の動画とともに投稿、また、全員が殺人犯であり、子どもに対する性的暴行犯含む凶悪犯

罪者であるとした。同日、トランプ大統領は、ブケレ大統領に犯罪者受入れを感謝するメッセージを自身の SNS に投稿し、ルビオ米国務長官もブケレ大統領およびエルサルバドル政府に感謝するメッセージを投稿した。

2. メキシコの治安対策に関するブケレ大統領の投稿（大統領 SNS）

(1) 3 月 20 日、ブケレ大統領は、メキシコとエルサルバドルの国土と人口の違いを挙げ、治安対策を比較する無意味さを指摘するあるメキシコ人の X の投稿を引用し、「自分はこのような投稿をたくさん見てきたが、正直、エルサルバドルへの執着が理解できない。しかし、いずれにせよメキシコの 32 州のうち 28 州はエルサルバドルと同じかそれ以下の人口だ。では、なぜ 1 億 3 千万の人口を抱える国の資源を持ちながら、エルサルバドルより少ない人口の一つの州の問題ですら解決できないのか。まずは 1 つの州で治安の問題を解決し、次の州で解決し、そのように 28 の州をすべて網羅するまで続けるべきだ」と投稿した。

(2) 翌 21 日、シェインバウム・メキシコ大統領は記者会見の場で、エルサルバドルで行ったように州ごとに暴力を抑制できるとして、メキシコの不安定な状況を批判したブケレ大統領に対してメキシコへの尊重を求めた。

3. ノーム米国土安全保障長官のエルサルバドル訪問（ノーム長官 SNS 等）

(1) 3 月 26 日、クリスティ・ノーム米国土安全保障長官がエルサルバドルを訪問し、ビジャトロ司法・公共治安大臣と、米国から送還されてきたベネズエラ人ギャング他の収監先である CECOT を視察、2021 年からの逃亡者取締のための治安同盟（SAFE）を更新する協力覚書に署名した他、ブケレ大統領と会談した（注：大統領との会談内容は公表されていない）。

(2) ノーム長官は、同日、自身の SNS に、「トランプ大統領と私は罪を犯した不法移民に対して明確なメッセージを持っている、『今すぐ出て行け』、もしあなたが出て行かないなら、私たちはあなたを追い詰め、逮捕し、このエルサルバドルの刑務所に入ることになるかもしれない」というメッセージを、CECOT の収監者の前で同様のコメントをする動画とともに投稿。

経済

1. IMF による EFF プログラムに係るエルサルバドル政府への要請内容の発表（IMF プレスリリース）

3 月 3 日、IMF は、エルサルバドル政府に対する長期融資制度 (EFF) プログラム実施に関して、2 月 12 日付のスタッフ・レポート及びスタッフ・ステートメントを発表。2025 年 12 月末に予定されている第 3 回レビューまでの、エルサルバドル政府による情報公開、年

金制度改革、暗号資産への関与の制限などに関して、具体的な行動計画が示された。

2. ラ・ウニオン港への自動車運搬船・貨物船の到着（大統領府 SNS）

(1) 3月8日、大統領府は、ブケレ政権は、エルサルバドル東部を経済発展の要衝とすることに尽力し、ラ・ウニオン港をこの地域で最も繁栄した港湾ターミナルのひとつにするビジョンを有することに触れつつ、トルコ企業イルポート社との公私合同企業設立以来、初の自動車運搬船がラ・ウニオン港に接岸、セダン、マイクロバス、ピックアップ、トラック、重機など600台以上が、韓国、アルゼンチン、エクアドル、ブラジル、メキシコから、MV Argus Rey号によって当国に輸送されたことを発表した。

(2) 3月13日、大統領府は、ラ・ウニオン港に車両運搬船の2艘目となる貨物船 Glovis Spiritを受け入れ、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、韓国、中国から、セダン、ピックアップ、マイクロバス、トラック、重機を含む772台の新車と貨物車を輸送したことを発表した。

3. USAID からの当国報道機関等への支援（大統領 SNS）

(1) 3月12日、ブケレ大統領は、自身の SNS にて、9日付「El Faro」紙（エルサルバドル発ラ米初のデジタルスペースに特化した反政府系ネットメディア）による当地メディア11社が米国国際開発庁（USAID）からの支援を受けていた旨の報道に対し反応し、「つまり、事実上、不安定化がアジェンダだった USAID の雇われに過ぎなかった『独立系ジャーナリスト』は締め出しを食らった」と投稿した。

(2) この反応の対象となっている「El Faro」の記事は、USAID 凍結によるラ米（主にエルサルバドル）への影響（主に報道機関）と、今まで当国で多額の資金を受け取ってプログラムを実施していた仲介組織として、Chemonics International Inc、Creative Associates International、Pact World、Development Alternatives Inc、赤十字社、World Vision、Catholic Relief Services、Save the Children を紹介したもの。

4. IMF4 条協議報告書の公表（IMF プレスリリース、3月20日付ラ・プレンサ・グラフィカ紙及びエル・ディアリオ・デ・オイ紙）

(1) 3月19日、IMF は、2023年3月に完成していたものの、エルサルバドル政府の同意を得られず非公表としていた IMF4 条協議報告書を公表した。報告書では、エルサルバドル政府に対し、次の点の必要性が指摘された。

ア 成長のための構造改革、準備金不足と持続可能性の低い公的債務に対処するための包括的政策の策定。

イ 財政透明性と年金制度の持続性を含む、歳入増加と支出削減による野心的な財政再建計画。

ウ 銀行準備金要件の引き上げや金融安定法案の施行等を含む金融改革。

エ ビットコインの法定通貨としての位置づけの廃止、取引の透明性と政府のビットコイ

ンへのエクスポージャーの拡大防止。

オ 財政の透明性、公共調達、AML/CFT 法、司法制度の独立性を強化するための継続的な取り組み。

(2) 当地各主要紙（反政府系）は、ビットコインによるリスク等は当時から指摘されており、エルサルバドル政府は報告書開示を拒否していたが、結果的には勧告内容をすべて受け入れることになったと報じた。

5. 世界銀行及び米州開発銀行からの融資承認

(1) 世界銀行プレスリリース（3 月 19 日付）

3 月 17 日、世銀理事会は、エルサルバドルにおけるプライマリー・ヘルスケアに重点を置いた質の高い保健サービスへのアクセス改善を支援するプロジェクト「エルサルバドル・ヘルスケア向上プロジェクト（PROMAS）」を承認した。PROMAS は 1 億 2,000 万ドルを投じる 5 年間のエルサルバドルの医療システムの強化を目的としたプロジェクトで、女性、子ども、村落、障がい者、先住民族に直接裨益する。

(2) 米州開発銀行プレスリリース（3 月 20 日付）

エルサルバドルは、当行からの 5 億ドルの融資を受け、マクロ経済と財政の持続可能性を促進するための改革を進める。我々は、エルサルバドルが IMF との合意に基づく構造改革を実施するための資金的援助を提供し、この融資はエルサルバドルに対して、税収の増加、公的債務の削減、外貨準備金の再構築、金融ガバナンス向上のための改革を進めるための財政的余地を与えることになる。この融資は 7 年間（うち 3 年間は支払い猶予期間）、金利は担保付翌日物調達金利（SOFR）に基づく。